

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)イオンスタイル新金岡新築工	階数	地上2F
建設地	大阪府堺市北区新金岡町四丁1番9	構造	S造
用途地域	市街化区域	平均居住人員	0人
地域区分	6地域	年間使用時間	5,745時間/年(想定値)
建物用途	物販店,飲食店,集会所,等	評価の段階	
竣工年	2021年7月 予定	評価の実施日	2020年9月19日
敷地面積	6,124 m ²	作成者	前田 幸陽
建築面積	3,649 m ²	確認日	2020年9月23日
延床面積	6,117 m ²	確認者	伊藤 公



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
建物をできる限り前面道路からセットバックした計画とした また、敷地内に緑地を計画し、周辺地域に配慮した。		0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
特になし	スーパーマーケットの天井高さ 3.5mを確保 ボード類・ビニルクロス貼 耐用年数 30年	特になし
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
モデル建物法	室内側に設備配管等が露出しないようにしている。 節水用の水栓を使用 ODPが0の発泡剤を使用	出来る限りLED照明を採用した。 CO ₂ 排出量を抑える計画としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	(仮称)イオンスタイル新金岡新築工事	BEE	BEEランク
	建設地	大阪府堺市北区新金岡町四丁1番9、1番17	0.8	B-
	主用途/延床面積	物販店 / 6,117.00 m ²		

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	4	■■■■●
みどり・ヒートアイランド対策	2	■■●●●
エネルギー削減	3	■■■●●
建物の断熱性	5	■■■■■
安全快適な暮らし	3	■■■●●
自然エネルギー利用	—	

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	-	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア				
CO ₂ 削減	評価項目	スコア	評価点	
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	3.7	4	
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目	スコア	2	
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値		2.0
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価値		3.0
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価値	2.0	
エネルギー削減	評価項目	スコア	3	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値		3.0
建物の断熱性	評価項目	スコア	5	
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値		4.8
安全快適な暮らし	評価項目	スコア	3	
	バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1. 1. 3」のスコアによる評価値		3.0
	耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2. 1」のスコアによる評価値		3.0
	地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3. 1」のスコアによる評価値		2.0
	交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2. 3. 3」のスコアによる評価値	3.0	
自然エネルギー利用	評価項目	スコア	—	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値		3.0

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特になし。	
特に配慮した事項	
特になし。	